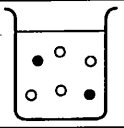
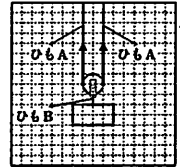


追検査

平成 31 年度 採点の手引 (理科)

問題	正 答	配 点	採点上の注意	
1	問1	ウ	20	
	問2	北極星		
	問3	ア → ウ → エ → イ		
	問4	相同器官		
	問5	2.7 g/cm <sup>3</sup>		
	問6	イ		
	問7	エ		
	問8	9.6 V		
2	問1	露点	20	
	問2	(例) 熱が伝わりやすいから。		内容に応じて部分点を認める。
	問3	62 %		
	問4	100 %		
	問5	6.2 g		
	問6	(例) 乾燥した風		内容に応じて部分点を認める。
	問7	(例) 電熱線でガラスをあたためることで、ガラス表面に接する空気の飽和水蒸気量が大きくなり、水滴が水蒸気になるから。		内容に応じて部分点を認める。
3	問1	対照実験	20	
	問2	ア		
	問3	(例) 光合成で使われる二酸化炭素の量は、呼吸で出される二酸化炭素の量よりも多く、試験管A内の二酸化炭素の総量が減ったから。		内容に応じて部分点を認める。
	問4	I		デンプン
		II		酸素
	問5	キ		
問6	化石燃料			

問題	正 答	配 点	採点上の注意		
4	問1	電解質	20		
	問2	エ			
	問3	(1)		(例) 赤インクと反応させて、赤インクの色が消える ことを確認すれば塩素であることが確かめられる。	塩素であることを確認できる方法と判別のしかたであれば、正答とする。
		(2)		塩化物イオン	
	問4	(1)			○が4つ均一に分散している様子が示されているものは、正答とする。
(2)		0.38 g			
問5	気体 塩素 理由(例) 塩酸や塩化銅の水溶液中には、ともに塩化物イオンが存在しており、電気分解すると、ともに陽極から塩素が発生する。塩化ナトリウム水溶液中にも電離してできた塩化物イオンが存在しているため、電気分解によって陽極から塩素が発生すると考えられる。	4	論理の筋道が通っているものは、正答とする。 内容に応じて部分点を認める。		
5	問1	(1)	0.45 J	20	
		(2)	0.12 W		
	問2	ウ	3		
問3		4	「J」は「N・m」、「W」は「J/s」なども正答とする。		
問4	(1)	90 cm	5		
	(2)	動滑車 4 個 計算の過程や考え方 (例) 表より、ひもを引いた力の大きさは動滑車がかかる重力の大きさの2分の1、4分の1、6分の1となることがわかる。ひもを引く力の大きさの計算式は、動滑車の個数をXとすると、(600+10X)÷2Xとなる。 X=1, 2, 3, 4を計算すると、305 N, 155 N, 105 N, 80 Nとなるので最低4個必要となる。		論理の筋道が通っているものは、正答とする。 内容に応じて部分点を認める。	
配 点 合 計			100		